

「彌彦神社」



皆さん、こんにちは！今回は、私の担当する弥彦村にある彌彦神社をご紹介します。彌彦神社は弥彦山をご神体とし、古くから「おやひこさま」と呼ばれて親しまれ、越後国（新潟県）で一番社格の高い「一宮」の称号を与えられる神社です。万葉集にも歌われている由緒正しい古社であり、御祭神は天香山命（あめのかごやまのみこと）です。天香山命は、天照大神（あまてらすおおみかみ）の御曾孫（ひまご）にあたり、越後の国の開拓にご尽力されたと言われています。入口である「一の鳥居」をくぐると、境内はとても緑豊かで荘厳な雰囲気になっています。



御神橋

玉ノ橋

当神社古記録によると、和銅四年(西暦七二二年)勅命により宮殿が改められた境内建造物の中に、御池「玉ノ橋」が記載されている如く、古くから参道中程に「御神橋」があり、室町時代の境内古絵図にも描かれている。

「玉ノ橋」について古伝には

今の人心の玉ノ橋を求めて神慮に通わしめて真の道を得る心なり。

とある。

明治四十五年、弥彦大火の際、社殿始め境内建造物を焼失した中で、明治二十九年改築された「玉ノ橋」だけはその難をまぬがれた。その後境内拡張、社殿造替事業に際し外苑弥彦公園に一時移転されていたが、昭和六十年の御遷座七十年奉祝を機として霊峰弥彦山の清流御手洗川に修理復元したものである。

「玉ノ橋」

一の鳥居をくぐってすぐ左手に「玉ノ橋」と呼ばれる赤い橋があります。下には小川が流れ、その上に美しい赤い橋がかかっています。神様が通る橋と言われ、人は渡ることができません。



「火の玉石」 (重軽の石)

台座の上に並ぶ、二つの石を使った運試しが出来ます。願い事を念じながら、どちらか一方の石を持ち上げます。石が軽いと感じたら願いは叶いやすく、重く感じられれば努力が必要であるということです。私が持ち上げた時には、なかなかの重さが感じられました。



「拝殿」

国の重要文化財にも指定され、背にはご神体、弥彦山がそびえます。お参りの際は「2礼4拍手1礼」です。通常の神社よりも2回拍手が多いのは、より丁重に拝する心を表す作法と伝えられてきたためです。私も目標達成のため、しっかり4拍手行ってお参りしました。



「菊祭り」

毎年、11月上旬から下旬まで菊祭りが行われます。私は混雑を避けるために準備期間に行って参りましたが、写真のような綺麗な花が見事に飾られていました。左上の写真は、花で弥彦山があらわされています。



境内では、多くの種類の鶏と鹿が飼われており、鹿には餌をあげることもできます。また、宝物殿では刀剣や書画、新潟県出身の芸術作品など、貴重な品々を見学できます。

彌彦神社は、平日であっても県内外から参拝者や観光客が多く訪れ、近くには温泉やお土産屋さん、道の駅のような休憩所もあります。とてもスケールの大きな神社で、パワースポットとしても有名です。皆さんも是非、彌彦神社をお参りしてみてください。